





ヲキルハヨヨ（かつて自らの血で野火を消し止めた。）  
 ヲヨルヨヨヨ（かつて自らの頭をたいまつと交換した。）  
 点ヨヨヨヨ（全てが切り拓かれた彼の時代に、）  
 半歩たりとも退くことはなかった。）

### 3. シュグ

シュグ（金脈をさぐりあて、金を造り上げた。）  
 シュグ（金によって子を養い、金によって敵をつくった。）  
 シュグ（木や石も彼の子孫である。）  
 シュグ（鳥や獣さえ彼の敵である。）  
 シュグ（彼の父母とも、呼べども応えなかった。）  
 シュグ（しかし金を呼べば金を得た。そして家が栄えた。）  
 シュグ（シュグスルも守護霊の一種であるように、）  
 シュグ（人食い大蛇も守護神の一種である。）  
 シュグ（この祖先は虎や狼と同じように今も我々とともにある。）

### 4. シュチ

シュチ（男児につけられた女性の名前は護符のようなものである。）  
 シュチ（黄葉が金色に光輝くように、未来が輝きますように。）  
 シュチ（あるいは、金や銀のように貴いといった祈りが込められた護符。）  
 シュチ（実際シュチはビモ<sup>5)</sup>の資格も手に入れ、スニの資格も手に入れた。）  
 シュチ（そして天と地をつなぐ使者となった。）  
 シュチ（世界は突如夢のように色を変えることもある。）  
 シュチ（「シュ」と言えば人は金を思い浮かべるが、黄葉も同じ発音である。）

---

5) ビモとは、彝族の中で祭祀や儀礼を主宰する祭司のことである。彝族のシャーマンであるが、他の民族と違い、独自の文字を操る。ここで言う儀礼をめぐる知識も、この文字で書かれた經典を通して次世代のビモに伝えられる。それに対してスニもシャーマンの一種と言えるが、文字を扱わない、扱う儀礼の分野が違う、ビモが男性に限られているのに対してスニは女性もなることができる、などの違いがある。同一人物がビモにもスニにもなるということは、まずあり得ない。

H𐌸𐌹𐌺𐌹𐌸𐌹,𐌹𐌸𐌹𐌺𐌹𐌸𐌹 (彼は父のためにも母のためにも尽くした。)

H𐌸𐌹𐌺𐌹𐌸𐌹,𐌹𐌸𐌹𐌺𐌹𐌸𐌹 (父の言葉は釘のように突き刺さり、母の言葉は墨のように染みわたったから。)

## 5. 𐌹𐌸𐌹 (オア)

𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹,𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (頭上にはカササギが巣をつくり、腰にはスースー鳥<sup>6)</sup>が巣をつくった。)

𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹,𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (杉の木が山頂にそびえ、)

𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹,𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (柏の木も山頂にそびえていた。)

𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹,𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (オアは樹木の皮を衣としてはおり、竹を切り出して弓矢を作った。)

𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹,𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (木の根は黒土をつらぬき、黒土は深く押し込められた。)

𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹,𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (獣の皮で鼓を作り、その音は雲間<sup>ツツミ</sup>まで届いた。)

H𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹,𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (勤勉なる者は穀物を食べ、牛や羊を得た。)

H𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹,𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (風がふく場所には、彼の足跡が残されていった。)

𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹,𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (そして雨が降る場所には至る所に、彼の子孫がくらし  
ている。)

## 6. 𐌹𐌸𐌹 (ハモ)

𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (高山では毒草と愛情の樹グブと一緒に成長する。)

𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (毒草とグブはともに四方八方へと根を張る。)

𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (人の根は穀物であり、獣の根は草である<sup>7)</sup>。)

𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (山のふもとには人が密集しており、山上から見ればまるで蜂の巣が並んでいるかのようだ。)

𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (ハモは百万の牛羊の主人となったことがある。)

𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (百万の人間の頭領になったことがある。)

𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (百万の悪鬼を退けたことがある。)

𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (百万年にわたってドッグ<sup>8)</sup>をした。)

𐌹𐌸𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹𐌹 (彼の地盤は千年でも万年でも盤石である。)

6) 伝説に登場する鳥だが、現存のどの鳥に相当するかは不明。

7) 人は穀物を糧にして成長し、獣は草を糧にして成長するということ。

8) ドッグとは、葬族社会の中で慣習法を司る人で、葬族の裁判官と言われる。

## 7. 𐀓𐀔 (ビク)

- 𐀓𐀔𐀓𐀔 (祖霊を送るニムツ儀礼<sup>9)</sup>を行う者、と言えはヌオス人<sup>10)</sup>である。)  
 𐀓𐀔𐀓𐀔 (ビモ<sup>11)</sup>の技術を学ぶ者はと言えはビモの子孫である。)  
 𐀓𐀔𐀓𐀔 (もしヌオス人が祖霊を送る儀礼をしなければ、)  
 𐀓𐀔𐀓𐀔 (ヌオス人はハガシヨ<sup>12)</sup>になってしまう。)  
 𐀓𐀔𐀓𐀔 (もしビモの子孫がビモの技術を学ばなければ、)  
 𐀓𐀔𐀔𐀔𐀔 (祖霊を送る儀礼という伝統は途絶えてしまう。)  
 𐀓𐀔𐀔𐀔 (ビモの口は矢のごとく、)  
 𐀓𐀔𐀔𐀔 (鋭利で人や物に突き刺さる。)  
 𐀓𐀔𐀔𐀔 (しかしビモの口は、人を暖かく包む最後のよりどころでもある。)

## 8. 𐀓𐀔 (ビ<sup>13)</sup> アール)

- 𐀓𐀔𐀓𐀔𐀔𐀔 (ビモにあやかった名というのは幸運をもたらす。)  
 𐀓𐀔𐀔𐀔𐀔 (兵士がビモと触れあえば勇猛果敢になると信じられている。)  
 𐀓𐀔𐀔𐀔𐀔 (ビモは病を治し、人を救う。)  
 𐀓𐀔𐀔𐀔𐀔 (ビモは文字を創り、経典を編んできた。)  
 𐀓𐀔𐀔𐀔𐀔 (ビモは新たな単語や述語を発明してきた。)  
 𐀓𐀔𐀔𐀔𐀔 (ビモは新たな未来を拓く。)  
 𐀓𐀔𐀔𐀔𐀔 (ビアールの祖先・子孫は数え切れないほど多い。)  
 𐀓𐀔𐀔𐀔𐀔 (東西南北どこにでも住んでいる。)  
 𐀓𐀔𐀔𐀔𐀔 (このうち西南のビズが私の祖先である。)

9) これは彝族が死者に対して行う儀礼の一種で、死者を表した位牌を一族の霊が眠る岩屋に安置することを含む。「大地より低い歌声——アク・ウウ散文詩選五首訳注」佐藤正光・木村守編『中国学藝聚華』(白帝社:2012)に収録された散文詩「祖先の岩屋を探して」参照。

10) 中国少数民族彝族のことを指すが、特にその中で四川省涼山自治州に多く居住する一系統の人々のことを指す。

11) ビモとは、すでに触れた通り彝族の中で祭礼や儀礼を主宰する祭司のことである。シャーマンの一種であるが、他の民族と違い、独自の文字を操る。ここで言う儀礼をめぐる知識も、この文字で書かれた経典を通して次世代のビモに伝えられる。この詩の題名となっている人名の「ビ」という音はこのビモと関係している。

12) 「ハガ」も「ショ」も漢民族(異民族)のことを指す。

13) この「ビ」も前出のビモに関連している。

## 9. 𐌲𐌿𐍂 (ビズ)

𐌲𐌿𐍂𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (ビモの行う呪術には種類がある。)

𐌲𐌿𐍂𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (道の上で行うものが聖なる魔術、道の下で行うものが邪悪な呪術である。)

𐌲𐌿𐍂𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (世襲ではなく、自分の代からビモになった者が執り行うことができる儀礼はそもそも限られる<sup>14)</sup>。)

𐌲𐌿𐍂𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (人々はビモを罵ったり、呪ったりすることはできない。)

𐌲𐌿𐍂𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (ビモは支配者の前であってもお辞儀をする必要がない。)

𐌲𐌿𐍂𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (と言うよりも、してはならない。民族の尊厳に傷がつくからである。)

𐌲𐌿𐍂𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (ビモは子を設けなければならない。)

𐌲𐌿𐍂𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (また他の者とともに労働に汗を流さなければならない。)

𐌲𐌿𐍂𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (私の祖先はずっとビモを敬い崇めてきた。)

## 10. 𐌲𐌿 (ル<sup>15)</sup> ア)

𐌲𐌿𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (龍は土地に根づいた神であり、我が民族の根である。)

𐌲𐌿𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (龍は生命の種子であり、また龍は人間の規律を体現している。)

𐌲𐌿𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (その根本となる規律について我が祖先は身にしみて知っていた。)

𐌲𐌿𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (龍に食物を与える必要はない。)

𐌲𐌿𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (龍を祭る必要もない。)

𐌲𐌿𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (龍の子孫<sup>16)</sup>であれば、威厳を保つべきである。)

𐌲𐌿𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (龍の子孫であれば、自重すべきである。)

𐌲𐌿𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (龍の子孫であれば、尊厳を守るべきである。)

𐌲𐌿𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰𐌺𐌰 (しかし、おかしなことに龍の子孫であるはずの我々は何も知らない。まさか龍が我々の土地を抜け出ていく<sup>17)</sup>ことを恐れていないの

14) 世襲ではなく、新たにビモを始めた人物への人々の信頼度は低く、祖霊を送るといった重要な儀礼を担当することができない。

15) 「ル」という彝語の発音は龍という意味である。

16) 龍の子孫というのは、ここでは彝族のことを指している。

だろうか。)

## 11. ゆい (ヌグッ<sup>18)</sup>)

ゆいゆいゆい (ヌグッには三人の息子がいた。)

ゆいゆいゆい (三人ともそれぞれの場所で名をなした。)

ゆいゆいゆい (すぐれた獵犬には上等のソバ粉<sup>19</sup>) を与えなければならない。)

ゆいゆいゆい (もし獵犬の鼻がきかなければ、それは獲物となる動物の幸運というものだろう。)

ゆいゆいゆい (すぐれた駿馬にもソバの粉を与える。)

ゆいゆいゆい (もし駿馬の鼻がきかなければ、競馬場は大騒ぎになるだろう。)

ゆいゆいゆい (人はソバで祭りのための供物を作る。)

ゆいゆいゆい (人の鼻がきかなければ、その子孫はそのわりをくうことになる。)

ゆいゆいゆい (見てみるとよい、鼻のきかない祖先を持つ子孫は、鼻が前に突き出ているから<sup>20</sup>)。)

## 12. あし (アズ)

あしあしあし (羊毛の糸をよじることを「ズ」と言う。)

あしあしあし (馬に乗ること「ズ」と言う。)

あしあしあし (行き場をなくすことも「ズ」と言う。)

あしあしあし (燕麦やソバを収穫することや鉄を打ち鍛えることも「ズ」と言う。)

あしあしあし (親戚や家族で内輪もめをして、)

17) ここで龍が去るとは、さまざまな自然災害が発生することを象徴している。作者は近年自然災害が頻繁に発生していることを念頭において、自分達の文化を忘れたことが災厄をもたらしたことを示唆している。

18) この発音は彝語で「鼻が効かない」ことを指す。この詩は作者が「鼻が効かない」この祖先に対するからかいを含んだ疑いのまなざしを表現したものである。

19) 蕎麦というのは彝族にとっての伝統作物であり、主食的な穀類である。彝族にとって米も麦も後から入ってきたものである。

20) 鼻が高いのは彝族社会の中でも高く評価される。それまでは批判的な口調であったのが、この最後の行ではユーモアをこめた表現をしている。

⑩ 𐀀𐀃𐀆𐀇𐀈𐀉𐀊𐀋𐀌𐀍𐀎𐀏𐀐 (殴り合いのけんかになることも「ズ」と言う。)  
𐀑𐀒𐀓𐀔𐀕𐀖𐀗𐀘𐀙𐀚𐀛 (アズはヌグッの長子であるから、人を率いる立場にある。)  
𐀜𐀝𐀞𐀟𐀠𐀡𐀢𐀣𐀤𐀥𐀦 (いにしえの時、蛙の神<sup>21)</sup>は長子としてあるべき思想を授けた。)  
𐀧𐀨𐀩𐀪𐀫𐀬𐀭𐀮𐀯𐀰𐀱 (シュトムグ<sup>22)</sup>のアズを祖先とするビモの家系はいまだに途絶えたことがない。)

### 13. 𐀀𐀃 (アンディ)

𐀀𐀃𐀄𐀅𐀆𐀇𐀈𐀉 (人類においては、堪え忍ぶものが人の上に立つ。)  
𐀊𐀋𐀌𐀍𐀎𐀏𐀐𐀑 (尊厳をそなえた文明は、他者と争ったりしない。)  
𐀒𐀓𐀔𐀕𐀖𐀗𐀘𐀙𐀚𐀛𐀜𐀝 (太陽や月は、古の時よりお互いに時を譲り合っているではないか。)  
𐀞𐀟𐀠𐀡𐀢𐀣𐀤𐀥𐀦𐀧 (生命は昼と夜の世界で自由に栄枯盛衰を繰り返す。)  
𐀨𐀩𐀪𐀫𐀬𐀭𐀮𐀯𐀰𐀱 (吟唱し弾き歌うときに、争わない。)  
𐀲𐀳𐀴𐀵𐀶𐀷𐀸𐀹𐀺𐀻𐀼 (狩猟し田を耕すときにも、争わない。)  
𐀽𐀾𐀿𐁀𐁁𐁂𐁃 (争わぬ者は大局を見通す。)  
𐁄𐁅𐁆𐁇𐁈𐁉𐁊𐁋 (大局を見通す者は、力を結集する術を知っている。)  
𐁌𐁍𐁎𐁏𐁐𐁑𐁒𐁓𐁔𐁕𐁖𐁗 (心を広く持てば、道は明るく照らし出される。)

### 14. 𐀀𐀃 (ハグッ)

𐀀𐀃𐀄𐀅𐀆𐀇𐀈𐀉𐀊𐀋𐀌𐀍𐀎𐀏𐀐 (我々は百年千年と大地にしっかりと根を張ることを目指す。)  
𐀑𐀒𐀓𐀔𐀕𐀖𐀗𐀘𐀙𐀚𐀛𐀜𐀝 (大地に根づかなかったものとして、ズブズグ<sup>23)</sup>がいた。)  
𐀞𐀟𐀠𐀡𐀢𐀣𐀤𐀥𐀦𐀧𐀨𐀩𐀪𐀫𐀬𐀭𐀮𐀯𐀰𐀱 (ある時、天の神は生けとし生けるものに愚水と智水を飲む機会を与えた。)  
𐀲𐀳𐀴𐀵𐀶𐀷𐀸𐀹𐀺𐀻𐀼𐀽𐀾𐀿𐁀𐁁𐁂𐁃𐁄𐁅 (この時にヒトは蛙にヒントをもらい、智水を飲むことで自らのことばを獲得することができた<sup>24)</sup>。)  
𐁇𐁈𐁉𐁊𐁋𐁌𐁍𐁎𐁏𐁐𐁑𐁒𐁓𐁔𐁕𐁖𐁗𐁘𐁙𐁚𐁛𐁜𐁝𐁞𐁟𐁠𐁡𐁢𐁣𐁤𐁥𐁦𐁧𐁨𐁩𐁪𐁫𐁬𐁭𐁮𐁯𐁰𐁱 (そして竹ひごを熱し、そのはぜる音によって、兄

21) この蛙の神は、この二首あとの「ハグッ」で登場する人類に智恵を授けた蛙のことである。

22) 伝説上の土地であるが、雲南省の昭通市あたりのことではないかと思われる。

23) 彝族の伝説に登場する、人類の祖先と思われる存在だが、すぐ絶滅した。とても背が高く、言葉が話せなかった。



弟はそれぞれ別のことばを話すようになった。それが民族の起源である<sup>25)</sup>。  
点中羊神の来神（ことばを獲得することで、はじめて歴史を獲得することができる。）

来神の来神の来神（歴史を獲得することで、はじめて人類は生活を享受できるようになった。）

ヒトは猿となにが違うのか？火を使え、煮炊きできる、というだけの違いだ。）

ハグツの子孫である我々はまた猿に似てきている。  
とは言っても、それでもまだ人であるのだが。）

## 15. 𐤂𐤁𐤏 (ユ<sup>26)</sup> ツウ)

𐤂𐤁𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏 (舌が二又に分かれたユゲハジュという羊の神がいる。)

𐤂𐤁𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏 (人は魂を呼ぶ時も、祖霊を送る時も、幸福を祈るときも、災厄を避ける時も羊を用いる。)

𐤂𐤁𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏 (羽を備え、天翔ることができるスムブテという神の馬がいる。)

𐤂𐤁𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏 (駿馬ダリアズウは蹄の曲がった雌馬の子である。)

𐤂𐤁𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏 (ルシュフイという神の牛がいる。)

𐤂𐤁𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏 (こつこつと畑を耕して、多くのものを得た。)

𐤂𐤁𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏𐤏 (クハダイという神の犬がいる。)

24) 天の神が全ての動物にこのような機会を与えた時、動物たちは競って神の神殿に駆けつけた。大きな獣達は先に到着し、きれいな杯に入った水を奪い合った。ヒトは歩みが遅く、それに間に合わなかったが、道の途中で出会った蛙から「とにかく一番汚い杯の水を飲みなさい」と教えられた。そこで神の神殿に着いたときに蛙から教えられた通りに汚い杯から水を飲んだが、それこそがことばをもたらず智水であった。しかし、同時に蛙の神から恨まれた。というのも蛙からはこの情報を教えるかわりに「あなたの方が先に着くであろうから先にその汚い杯の水を飲んで構わないが、少し残しておいてほしい」と頼まれていたのに、ヒトの祖先はそれを飲み干してしまったからだ。

25) このヒトの兄弟とは、天の神の娘と人間の男の三人の息子達であり、もともとことばを話せなかった。しかし息子達がことばを話せないことを心配した母（天の神の娘）が天の神から秘密の方法を盗み聞き、この方法を試したところ、竹のはぜる音に驚いた長男は漢語（中国語）を話して漢族の祖先となり、次男はチベット族の祖先となり、三男は彝族の祖先となった。こうして単なるヒトからそれぞれの民族に分かれていった。

26) この発音は羊という意味を表す。

𐀀𐀃𐀆𐀇𐀈𐀉𐀊𐀋𐀌𐀍𐀎𐀏𐀐𐀑𐀒𐀓𐀔𐀕𐀖𐀗𐀘𐀙𐀚𐀛𐀜𐀝𐀞𐀟𐀠𐀡𐀢𐀣𐀤𐀥𐀦𐀧𐀨𐀩𐀪𐀫𐀬𐀭𐀮𐀯𐀰𐀱𐀲𐀳𐀴𐀵𐀶𐀷𐀸𐀹𐀺𐀻𐀼𐀽𐀾𐀿𐁀𐁁𐁂𐁃𐁄𐁅𐁆𐁇𐁈𐁉𐁊𐁋𐁌𐁍𐁎𐁏𐁐𐁑𐁒𐁓𐁔𐁕𐁖𐁗𐁘𐁙𐁚𐁛𐁜𐁝𐁞𐁟𐁠𐁡𐁢𐁣𐁤𐁥𐁦𐁧𐁨𐁩𐁪𐁫𐁬𐁭𐁮𐁯𐁰𐁱𐁲𐁳𐁴𐁵𐁶𐁷𐁸𐁹𐁺𐁻𐁼𐁽𐁾𐁿𐂀𐂁𐂂𐂃𐂄𐂅𐂆𐂇𐂈𐂉𐂊𐂋𐂌𐂍𐂎𐂏𐂐𐂑𐂒𐂓𐂔𐂕𐂖𐂗𐂘𐂙𐂚𐂛𐂜𐂝𐂞𐂟𐂠𐂡𐂢𐂣𐂤𐂥𐂦𐂧𐂨𐂩𐂪𐂫𐂬𐂭𐂮𐂯𐂰𐂱𐂲𐂳𐂴𐂵𐂶𐂷𐂸𐂹𐂺𐂻𐂼𐂽𐂾𐂿𐃀𐃁𐃂𐃃𐃄𐃅𐃆𐃇𐃈𐃉𐃊𐃋𐃌𐃍𐃎𐃏𐃐𐃑𐃒𐃓𐃔𐃕𐃖𐃗𐃘𐃙𐃚𐃛𐃜𐃝𐃞𐃟𐃠𐃡𐃢𐃣𐃤𐃥𐃦𐃧𐃨𐃩𐃪𐃫𐃬𐃭𐃮𐃯𐃰𐃱𐃲𐃳𐃴𐃵𐃶𐃷𐃸𐃹𐃺𐃻𐃼𐃽𐃾𐃿𐄀𐄁𐄂𐄃𐄄𐄅𐄆𐄇𐄈𐄉𐄊𐄋𐄌𐄍𐄎𐄏𐄐𐄑𐄒𐄓𐄔𐄕𐄖𐄗𐄘𐄙𐄚𐄛𐄜𐄝𐄞𐄟𐄠𐄡𐄢𐄣𐄤𐄥𐄦𐄧𐄨𐄩𐄪𐄫𐄬𐄭𐄮𐄯𐄰𐄱𐄲𐄳𐄴𐄵𐄶𐄷𐄸𐄹𐄺𐄻𐄼𐄽𐄾𐄿𐅀𐅁𐅂𐅃𐅄𐅅𐅆𐅇𐅈𐅉𐅊𐅋𐅌𐅍𐅎𐅏𐅐𐅑𐅒𐅓𐅔𐅕𐅖𐅗𐅘𐅙𐅚𐅛𐅜𐅝𐅞𐅟𐅠𐅡𐅢𐅣𐅤𐅥𐅦𐅧𐅨𐅩𐅪𐅫𐅬𐅭𐅮𐅯𐅰𐅱𐅲𐅳𐅴𐅵𐅶𐅷𐅸𐅹𐅺𐅻𐅼𐅽𐅾𐅿𐆀𐆁𐆂𐆃𐆄𐆅𐆆𐆇𐆈𐆉𐆊𐆋𐆌𐆍𐆎𐆏𐆐𐆑𐆒𐆓𐆔𐆕𐆖𐆗𐆘𐆙𐆚𐆛𐆜𐆝𐆞𐆟𐆠𐆡𐆢𐆣𐆤𐆥𐆦𐆧𐆨𐆩𐆪𐆫𐆬𐆭𐆮𐆯𐆰𐆱𐆲𐆳𐆴𐆵𐆶𐆷𐆸𐆹𐆺𐆻𐆼𐆽𐆾𐆿𐇀𐇁𐇂𐇃𐇄𐇅𐇆𐇇𐇈𐇉𐇊𐇋𐇌𐇍𐇎𐇏𐇐𐇑𐇒𐇓𐇔𐇕𐇖𐇗𐇘𐇙𐇚𐇛𐇜𐇝𐇞𐇟𐇠𐇡𐇢𐇣𐇤𐇥𐇦𐇧𐇨𐇩𐇪𐇫𐇬𐇭𐇮𐇯𐇰𐇱𐇲𐇳𐇴𐇵𐇶𐇷𐇸𐇹𐇺𐇻𐇼𐇽𐇾𐇿𐈀𐈁𐈂𐈃𐈄𐈅𐈆𐈇𐈈𐈉𐈊𐈋𐈌𐈍𐈎𐈏𐈐𐈑𐈒𐈓𐈔𐈕𐈖𐈗𐈘𐈙𐈚𐈛𐈜𐈝𐈞𐈟𐈠𐈡𐈢𐈣𐈤𐈥𐈦𐈧𐈨𐈩𐈪𐈫𐈬𐈭𐈮𐈯𐈰𐈱𐈲𐈳𐈴𐈵𐈶𐈷𐈸𐈹𐈺𐈻𐈼𐈽𐈾𐈿𐉀𐉁𐉂𐉃𐉄𐉅𐉆𐉇𐉈𐉉𐉊𐉋𐉌𐉍𐉎𐉏𐉐𐉑𐉒𐉓𐉔𐉕𐉖𐉗𐉘𐉙𐉚𐉛𐉜𐉝𐉞𐉟𐉠𐉡𐉢𐉣𐉤𐉥𐉦𐉧𐉨𐉩𐉪𐉫𐉬𐉭𐉮𐉯𐉰𐉱𐉲𐉳𐉴𐉵𐉶𐉷𐉸𐉹𐉺𐉻𐉼𐉽𐉾𐉿𐊀𐊁𐊂𐊃𐊄𐊅𐊆𐊇𐊈𐊉𐊊𐊋𐊌𐊍𐊎𐊏𐊐𐊑𐊒𐊓𐊔𐊕𐊖𐊗𐊘𐊙𐊚𐊛𐊜𐊝𐊞𐊟𐊠𐊡𐊢𐊣𐊤𐊥𐊦𐊧𐊨𐊩𐊪𐊫𐊬𐊭𐊮𐊯𐊰𐊱𐊲𐊳𐊴𐊵𐊶𐊷𐊸𐊹𐊺𐊻𐊼𐊽𐊾𐊿𐋀𐋁𐋂𐋃𐋄𐋅𐋆𐋇𐋈𐋉𐋊𐋋𐋌𐋍𐋎𐋏𐋐𐋑𐋒𐋓𐋔𐋕𐋖𐋗𐋘𐋙𐋚𐋛𐋜𐋝𐋞𐋟𐋠𐋡𐋢𐋣𐋤𐋥𐋦𐋧𐋨𐋩𐋪𐋫𐋬𐋭𐋮𐋯𐋰𐋱𐋲𐋳𐋴𐋵𐋶𐋷𐋸𐋹𐋺𐋻𐋼𐋽𐋾𐋿𐌀𐌁𐌂𐌃𐌄𐌅𐌆𐌇𐌈𐌉𐌊𐌋𐌌𐌍𐌎𐌏𐌐𐌑𐌒𐌓𐌔𐌕𐌖𐌗𐌘𐌙𐌚𐌛𐌜𐌝𐌞𐌟𐌠𐌡𐌢𐌣𐌤𐌥𐌦𐌧𐌨𐌩𐌪𐌫𐌬𐌭𐌮𐌯𐌰𐌱𐌲𐌳𐌴𐌵𐌶𐌷𐌸𐌹𐌺𐌻𐌼𐌽𐌾𐌿𐍀𐍁𐍂𐍃𐍄𐍅𐍆𐍇𐍈𐍉𐍊𐍋𐍌𐍍𐍎𐍏𐍐𐍑𐍒𐍓𐍔𐍕𐍖𐍗𐍘𐍙𐍚𐍛𐍜𐍝𐍞𐍟𐍠𐍡𐍢𐍣𐍤𐍥𐍦𐍧𐍨𐍩𐍪𐍫𐍬𐍭𐍮𐍯𐍰𐍱𐍲𐍳𐍴𐍵𐍶𐍷𐍸𐍹𐍺𐍻𐍼𐍽𐍾𐍿𐎀𐎁𐎂𐎃𐎄𐎅𐎆𐎇𐎈𐎉𐎊𐎋𐎌𐎍𐎎𐎏𐎐𐎑𐎒𐎓𐎔𐎕𐎖𐎗𐎘𐎙𐎚𐎛𐎜𐎝𐎞𐎟𐎠𐎡𐎢𐎣𐎤𐎥𐎦𐎧𐎨𐎩𐎪𐎫𐎬𐎭𐎮𐎯𐎰𐎱𐎲𐎳𐎴𐎵𐎶𐎷𐎸𐎹𐎺𐎻𐎼𐎽𐎾𐎿𐏀𐏁𐏂𐏃𐏄𐏅𐏆𐏇𐏈𐏉𐏊𐏋𐏌𐏍𐏎𐏏𐏐𐏑𐏒𐏓𐏔𐏕𐏖𐏗𐏘𐏙𐏚𐏛𐏜𐏝𐏞𐏟𐏠𐏡𐏢𐏣𐏤𐏥𐏦𐏧𐏨𐏩𐏪𐏫𐏬𐏭𐏮𐏯𐏰𐏱𐏲𐏳𐏴𐏵𐏶𐏷𐏸𐏹𐏺𐏻𐏼𐏽𐏾𐏿𐐀𐐁

16. ~~ス~~ (スンジエ)

オノノ山ノ毒草ハ敵人、そして魑魅魍魎にも対抗できるほどの強い毒を持つ。)

(外敵を打ち破るには天と地と人、すべての条件が揃う必要がある。)

(戦の際の心得。自らの領地で小石を拾ってはならない<sup>27)</sup>。妻に本当の話をしてはならない<sup>28)</sup>。)

(樹木を曲げたわめて弓となし、竹竿を削って矢となす。)

(鎧、小手、刀、斧を作る。)

(黒土は阿片を生み、阿片は白銀に変わり、白銀はさらに銃へと変化する。)

(銃眼を覗けば漆黑しか見えない。その漆黑が鮮血を飛び散らせ、人類の歴史を真っ赤に染める。)

(そしてその真っ赤な血は木々の生い茂る密林を野火で包む。)

(そうして失った人々の命は何かの役に立つとでも言うのか？ 雨の後に次々と顔を出す筈は酒のつまみにもならないではないか。)

17. ~~110~~ (アンジエ)

ト又ハ云：母ヲ母ノ母ニシテ（愚鈍な跡継ぎは囲炉裏の周りを回るだけである。自分の家の裏庭から裏通りを歩くのがせいぜいだ。）

ト又ハ云：父ヲ父ノ父ニシテ（家の周り、親戚連中の間をめぐり歩くのが関の山だ。）

ト又ハ云：父ヲ父ノ父ニシテ（優秀な跡継ぎは父を超える。親子兄弟、全ての

27) あまり細かく管理してはいけない、ということ。

28) ある有名な彝族の武将が、漢族の愛人に情報を盗まれて戦に負けたという伝説にもとづいている。

家族がそのもとに集まる。)

リサ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (大局を見極め、智慧をめぐらし勇武でならずことでその美名は広く伝わる。)

リサ⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ (人は生きることその名を争い、虎は死ぬことでその皮を残す。)

リサ㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚ (人は戒律を守り、木桶は水を漏らさない。)

㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵ (息子は嫁を取り、娘は嫁に行く。)

㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (領地を開拓するのは子孫の未来のためである。)

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (アンジェの子孫はますます栄え、規律を守り、家業も繁盛している。)

## 18. ションガ

リサ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (人類に尊厳があれば歴史は語るべき対象を増やす。)

⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (一人でも尊厳を持たない者がいれば一家の威信が地に墜ちる。)

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (ある家族が威厳を失えば民族全体が危機に陥る。)

㊿㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (誕生に関わる尊厳とは、さらに後代を生み育て、家系を絶やさずにいることである。)

㊿㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (生きることの尊厳とは、満ち足りた生活をし、勇気を持って恐れを振り払うことである。)

㊿㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (死の尊厳とは、親から得た借りを返し、その命が尽きる時まで親の面倒を見ることである。)

㊿㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (上の代の者が尊厳を持っていれば、次の代の者は家業が栄え、その地位を守ることができる。)

㊿㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (一世代でも尊厳を保つものがあれば、その子孫の道は明るい。)

㊿㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (ヌオス人は尊厳を生命よりも高く見ているのである。)

## 19. モサ

㊿㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (子宝に恵まれる名前というのは健康と幸福の意味を含んでいる。)

㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (私生児、養子、遺児。)

㊿㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (ハンセン病、チフス、ワキガ、コレラにかかった者。)

ᐱᕈᑦ ᐸᓴᕐᐳᑦ ᐅᑭᑦ ᐃᓴᕐᐳᑦ (穀物の種をまき、収穫するのは半分は動物のため、半分は人のためである。)

ふつふつと息を吐く（子供を産み育てるのは半分は魍魎魍魎のため、半分は家系を絶やさないためである。）

12人の子供の家系の中には、続いたものも途絶えたものもある。

息子を持つ母親は懸崖の上に腰かけているようなものだ。懸崖にはミツバチが群れてブンブン言っている。）

𐄢𐄣𐄤𐄥𐄦𐄧𐄨𐄩𐄪𐄫𐄬𐄭𐄮𐄯𐄰𐄱𐄲𐄳𐄴𐄵𐄶𐄷𐄸𐄹𐄺𐄻𐄼𐄽𐄾𐄿𐅀𐅁𐅂𐅃𐅄𐅅𐅆𐅇𐅈𐅉𐅊𐅋𐅌𐅍𐅎𐅏𐅐𐅑𐅒𐅓𐅔𐅕𐅖𐅗𐅘𐅙𐅚𐅛𐅜𐅝𐅞𐅟𐅠𐅡𐅢𐅣𐅤𐅥𐅦𐅧𐅨𐅩𐅪𐅫𐅬𐅭𐅮𐅯𐅰𐅱𐅲𐅳𐅴𐅵𐅶𐅷𐅸𐅹𐅺𐅻𐅼𐅽𐅾𐅿𐆀𐆁𐆂𐆃𐆄𐆅𐆆𐆇𐆈𐆉𐆊𐆋𐆌𐆍𐆎𐆏𐆐𐆑𐆒𐆓𐆔𐆕𐆖𐆗𐆘𐆙𐆚𐆛𐆜𐆝𐆞𐆟𐆠𐆡𐆢𐆣𐆤𐆥𐆦𐆧𐆨𐆩𐆪𐆫𐆬𐆭𐆮𐆯𐆰𐆱𐆲𐆳𐆴𐆵𐆶𐆷𐆸𐆹𐆺𐆻𐆼𐆽𐆾𐆿𐇀𐇁𐇂𐇃𐇄𐇅𐇆𐇇𐇈𐇉𐇊𐇋𐇌𐇍𐇎𐇏𐇐𐇑𐇒𐇓𐇔𐇕𐇖𐇗𐇘𐇙𐇚𐇛𐇜𐇝𐇞𐇟𐇠𐇡𐇢𐇣𐇤𐇥𐇦𐇧𐇨𐇩𐇪𐇫𐇬𐇭𐇮𐇯𐇰𐇱𐇲𐇳𐇴𐇵𐇶𐇷𐇸𐇹𐇺𐇻𐇼𐇽𐇾𐇿𐈀𐈁𐈂𐈃𐈄𐈅𐈆𐈇𐈈𐈉𐈊𐈋𐈌𐈍𐈎𐈏𐈐𐈑𐈒𐈓𐈔𐈕𐈖𐈗𐈘𐈙𐈚𐈛𐈜𐈝𐈞𐈟𐈠𐈡𐈢𐈣𐈤𐈥𐈦𐈧𐈨𐈩𐈪𐈫𐈬𐈭𐈮𐈯𐈰𐈱𐈲𐈳𐈴𐈵𐈶𐈷𐈸𐈹𐈺𐈻𐈼𐈽𐈾𐈿𐉀𐉁𐉂𐉃𐉄𐉅𐉆𐉇𐉈𐉉𐉊𐉋𐉌𐉍𐉎𐉏𐉐𐉑𐉒𐉓𐉔𐉕𐉖𐉗𐉘𐉙𐉚𐉛𐉜𐉝𐉞𐉟𐉠𐉡𐉢𐉣𐉤𐉥𐉦𐉧𐉨𐉩𐉪𐉫𐉬𐉭𐉮𐉯𐉰𐉱𐉲𐉳𐉴𐉵𐉶𐉷𐉸𐉹𐉺𐉻𐉼𐉽𐉾𐉿𐊀𐊁𐊂𐊃𐊄𐊅𐊆𐊇𐊈𐊉𐊊𐊋𐊌𐊍𐊎𐊏𐊐𐊑𐊒𐊓𐊔𐊕𐊖𐊗𐊘𐊙𐊚𐊛𐊜𐊝𐊞𐊟𐊠𐊡𐊢𐊣𐊤𐊥𐊦𐊧𐊨𐊩𐊪𐊫𐊬𐊭𐊮𐊯𐊰𐊱𐊲𐊳𐊴𐊵𐊶𐊷𐊸𐊹𐊺𐊻𐊼𐊽𐊾𐊿𐋀𐋁𐋂𐋃𐋄𐋅𐋆𐋇𐋈𐋉𐋊𐋋𐋌𐋍𐋎𐋏𐋐𐋑𐋒𐋓𐋔𐋕𐋖𐋗𐋘𐋙𐋚𐋛𐋜𐋝𐋞𐋟𐋠𐋡𐋢𐋣𐋤𐋥𐋦𐋧𐋨𐋩𐋪𐋫𐋬𐋭𐋮𐋯𐋰𐋱𐋲𐋳𐋴𐋵𐋶𐋷𐋸𐋹𐋺𐋻𐋼𐋽𐋾𐋿𐌀𐌁𐌂𐌃𐌄𐌅𐌆𐌇𐌈𐌉𐌊𐌋𐌌𐌍𐌎𐌏𐌐𐌑𐌒𐌓𐌔𐌕𐌖𐌗𐌘𐌙𐌚𐌛𐌜𐌝𐌞𐌟𐌠𐌡𐌢𐌣𐌤𐌥𐌦𐌧𐌨𐌩𐌪𐌫𐌬𐌭𐌮𐌯𐌰𐌱𐌲𐌳𐌴𐌵𐌶𐌷𐌸𐌹𐌺𐌻𐌼𐌽𐌾𐌿𐍀𐍁𐍂𐍃𐍄𐍅𐍆𐍇𐍈𐍉𐍊𐍋𐍌𐍍𐍎𐍏𐍐𐍑𐍒𐍓𐍔𐍕𐍖𐍗𐍘𐍙𐍚𐍛𐍜𐍝𐍞𐍟𐍠𐍡𐍢𐍣𐍤𐍥𐍦𐍧𐍨𐍩𐍪𐍫𐍬𐍭𐍮𐍯𐍰𐍱𐍲𐍳𐍴𐍵𐍶𐍷𐍸𐍹𐍺𐍻𐍼𐍽𐍾𐍿𐎀𐎁𐎂𐎃𐎄𐎅𐎆𐎇𐎈𐎉𐎊𐎋𐎌𐎍𐎎𐎏𐎐𐎑𐎒𐎓𐎔𐎕𐎖𐎗𐎘𐎙𐎚𐎛𐎜𐎝𐎞𐎟𐎠𐎡𐎢𐎣𐎤𐎥𐎦𐎧𐎨𐎩𐎪𐎫𐎬𐎭𐎮𐎯𐎰𐎱𐎲𐎳𐎴𐎵𐎶𐎷𐎸𐎹𐎺𐎻𐎼𐎽𐎾𐎿𐏀𐏁𐏂𐏃𐏄𐏅𐏆𐏇𐏈𐏉𐏊𐏋𐏌𐏍𐏎𐏏𐏐𐏑𐏒𐏓𐏔𐏕𐏖𐏗𐏘𐏙𐏚𐏛𐏜𐏝𐏞𐏟𐏠𐏡𐏢𐏣𐏤𐏥𐏦𐏧𐏨𐏩𐏪𐏫𐏬𐏭𐏮𐏯𐏰𐏱𐏲𐏳𐏴𐏵𐏶𐏷𐏸𐏹𐏺𐏻𐏼𐏽𐏾𐏿𐐀𐐁𐐂𐐃𐐄𐐅𐐆𐐇𐐈𐐉𐐊𐐋𐐌𐐍𐐎𐐏𐐐𐐑𐐒𐐓𐐔𐐕𐐖𐐗𐐘𐐙𐐚𐐛𐐜𐐝𐐞𐐟𐐠𐐡𐐢𐐣𐐤𐐥𐐦𐐧𐐨𐐩𐐪𐐫𐐬𐐭𐐮𐐯𐐰𐐱𐐲𐐳𐐴𐐵𐐶𐐷𐐸𐐹𐐺𐐻𐐼𐐽𐐾𐐿𐑀𐑁𐑂𐑃𐑄𐑅𐑆𐑇𐑈𐑉𐑊𐑋𐑌𐑍𐑎𐑏𐑐𐑑𐑒𐑓𐑔𐑕𐑖𐑗𐑘𐑙𐑚𐑛𐑜𐑝𐑞𐑟𐑠𐑡𐑢𐑣𐑤𐑥𐑦𐑧𐑨𐑩𐑪𐑫𐑬𐑭𐑮𐑯𐑰𐑱𐑲𐑳𐑴𐑵𐑶𐑷𐑸𐑹𐑺𐑻𐑼𐑽𐑾𐑿𐒀𐒁𐒂𐒃𐒄𐒅𐒆𐒇𐒈𐒉𐒊𐒋𐒌𐒍𐒎𐒏𐒐𐒑𐒒𐒓𐒔𐒕𐒖𐒗𐒘𐒙𐒚𐒛𐒜𐒝𐒞𐒟𐒠𐒡𐒢𐒣𐒤𐒥𐒦𐒧𐒨𐒩𐒪𐒫𐒬𐒭𐒮𐒯𐒰𐒱𐒲𐒳𐒴𐒵𐒶𐒷𐒸𐒹𐒺𐒻𐒼𐒽𐒾𐒿𐓀𐓁𐓂𐓃𐓄𐓅𐓆𐓇𐓈𐓉𐓊𐓋𐓌𐓍𐓎𐓏𐓐𐓑𐓒𐓓𐓔𐓕𐓖𐓗𐓘𐓙𐓚𐓛𐓜𐓝𐓞𐓟𐓠𐓡𐓢𐓣𐓤𐓥𐓦𐓧𐓨𐓩𐓪𐓫𐓬𐓭𐓮𐓯𐓰𐓱𐓲𐓳𐓴𐓵𐓶𐓷𐓸𐓹𐓺𐓻𐓼𐓽𐓾𐓿𐔀𐔁𐔂𐔃𐔄𐔅𐔆𐔇𐔈𐔉𐔊𐔋𐔌𐔍𐔎𐔏𐔐𐔑𐔒𐔓𐔔𐔕𐔖𐔗𐔘𐔙𐔚𐔛𐔜𐔝𐔞𐔟𐔠

ᄃᆞᆫᄇᆡᄂᆺᄋᆯᄌᆡᄎᆺᄃᆺᄃᆺᄃᆺ (岩登りの名手は岩壁で命を落とし、水泳の名手  
は激流に押し流される。)

20. ヱ̇ (ヴフォ)

[illegible]

**ㄨㄣˊ ㄉㄜˋ ㄓㄩˌ ㄅㄛˈ**（商売のため各地を駆け巡った。）

祖母のジズ・ビニュは剛毅な性格で才気あふれる女主人。

ᠪᠠᠭᠤᠨᠤᠯᠤᠰᠤᠨᠤᠨᠠᠭᠤᠨᠤᠨᠠᠭᠤᠨᠤᠨᠠᠭᠤᠨ (彼らの家は雇い人もいて、広い土地も持っていた。)

𐄂𐄃𐄄𐄅𐄆𐄇𐄈𐄉𐄊𐄋𐄌𐄍𐄎𐄏𐄐𐄑𐄒𐄓𐄔𐄕𐄖𐄗𐄘𐄙𐄚𐄛𐄜𐄝𐄞𐄟𐄠𐄡𐄢𐄣𐄤𐄥𐄦𐄧𐄨𐄩𐄪𐄫𐄬𐄭𐄮𐄯𐄰𐄱𐄲𐄳𐄴𐄵𐄶𐄷𐄸𐄹𐄺𐄻𐄼𐄽𐄾𐄿𐅀𐅁𐅂𐅃𐅄𐅅𐅆𐅇𐅈𐅉𐅊𐅋𐅌𐅍𐅎𐅏𐅐𐅑𐅒𐅓𐅔𐅕𐅖𐅗𐅘𐅙𐅚𐅛𐅜𐅝𐅞𐅟𐅠𐅡𐅢𐅣𐅤𐅥𐅦𐅧𐅨𐅩𐅪𐅫𐅬𐅭𐅮𐅯𐅰𐅱𐅲𐅳𐅴𐅵𐅶𐅷𐅸𐅹𐅺𐅻𐅼𐅽𐅾𐅿𐆀𐆁𐆂𐆃𐆄𐆅𐆆𐆇𐆈𐆉𐆊𐆋𐆌𐆍𐆎𐆏𐆐𐆑𐆒𐆓𐆔𐆕𐆖𐆗𐆘𐆙𐆚𐆛𐆜𐆝𐆞𐆟𐆠𐆡𐆢𐆣𐆤𐆥𐆦𐆧𐆨𐆩𐆪𐆫𐆬𐆭𐆮𐆯𐆰𐆱𐆲𐆳𐆴𐆵𐆶𐆷𐆸𐆹𐆺𐆻𐆼𐆽𐆾𐆿𐇀𐇁𐇂𐇃𐇄𐇅𐇆𐇇𐇈𐇉𐇊𐇋𐇌𐇍𐇎𐇏𐇐𐇑𐇒𐇓𐇔𐇕𐇖𐇗𐇘𐇙𐇚𐇛𐇜𐇝𐇞𐇟𐇠𐇡𐇢𐇣𐇤𐇥𐇦𐇧𐇨𐇩𐇪𐇫𐇬𐇭𐇮𐇯𐇰𐇱𐇲𐇳𐇴𐇵𐇶𐇷𐇸𐇹𐇺𐇻𐇼𐇽𐇾𐇿𐈀𐈁𐈂𐈃𐈄𐈅𐈆𐈇𐈈𐈉𐈊𐈋𐈌𐈍𐈎𐈏𐈐𐈑𐈒𐈓𐈔𐈕𐈖𐈗𐈘𐈙𐈚𐈛𐈜𐈝𐈞𐈟𐈠𐈡𐈢𐈣𐈤𐈥𐈦𐈧𐈨𐈩𐈪𐈫𐈬𐈭𐈮𐈯𐈰𐈱𐈲𐈳𐈴𐈵𐈶𐈷𐈸𐈹𐈺𐈻𐈼𐈽𐈾𐈿𐉀𐉁𐉂𐉃𐉄𐉅𐉆𐉇𐉈𐉉𐉊𐉋𐉌𐉍𐉎𐉏𐉐𐉑𐉒𐉓𐉔𐉕𐉖𐉗𐉘𐉙𐉚𐉛𐉜𐉝𐉞𐉟𐉠𐉡𐉢𐉣𐉤𐉥𐉦𐉧𐉨𐉩𐉪𐉫𐉬𐉭𐉮𐉯𐉰𐉱𐉲𐉳𐉴𐉵𐉶𐉷𐉸𐉹𐉺𐉻𐉼𐉽𐉾𐉿𐊀𐊁𐊂𐊃𐊄𐊅𐊆𐊇𐊈𐊉𐊊𐊋𐊌𐊍𐊎𐊏𐊐𐊑𐊒𐊓𐊔𐊕𐊖𐊗𐊘𐊙𐊚𐊛𐊜𐊝𐊞𐊟𐊠𐊡𐊢𐊣𐊤𐊥𐊦𐊧𐊨𐊩𐊪𐊫𐊬𐊭𐊮𐊯𐊰𐊱𐊲𐊳𐊴𐊵𐊶𐊷𐊸𐊹𐊺𐊻𐊼𐊽𐊾𐊿𐋀𐋁𐋂𐋃𐋄𐋅𐋆𐋇𐋈𐋉𐋊𐋋𐋌𐋍𐋎𐋏𐋐𐋑𐋒𐋓𐋔𐋕𐋖𐋗𐋘𐋙𐋚𐋛𐋜𐋝𐋞𐋟𐋠𐋡𐋢𐋣𐋤𐋥𐋦𐋧𐋨𐋩𐋪𐋫𐋬𐋭𐋮𐋯𐋰𐋱𐋲𐋳𐋴𐋵𐋶𐋷𐋸𐋹𐋺𐋻𐋼𐋽𐋾𐋿𐌀𐌁𐌂𐌃𐌄𐌅𐌆𐌇𐌈𐌉𐌊𐌋𐌌𐌍𐌎𐌏𐌐𐌑𐌒𐌓𐌔𐌕𐌖𐌗𐌘𐌙𐌚𐌛𐌜𐌝𐌞𐌟𐌠𐌡𐌢𐌣𐌤𐌥𐌦𐌧𐌨𐌩𐌪𐌫𐌬𐌭𐌮𐌯𐌰𐌱𐌲𐌳𐌴𐌵𐌶𐌷𐌸𐌹𐌺𐌻𐌼𐌽𐌾𐌿𐍀𐍁𐍂𐍃𐍄𐍅𐍆𐍇𐍈𐍉𐍊𐍋𐍌𐍍𐍎𐍏𐍐𐍑𐍒𐍓𐍔𐍕𐍖𐍗𐍘𐍙𐍚𐍛𐍜𐍝𐍞𐍟𐍠𐍡𐍢𐍣𐍤𐍥𐍦𐍧𐍨𐍩𐍪𐍫𐍬𐍭𐍮𐍯𐍰𐍱𐍲𐍳𐍴𐍵𐍶𐍷𐍸𐍹𐍺𐍻𐍼𐍽𐍾𐍿𐎀𐎁𐎂𐎃𐎄𐎅𐎆𐎇𐎈𐎉𐎊𐎋𐎌𐎍𐎎𐎏𐎐𐎑𐎒𐎓𐎔𐎕𐎖𐎗𐎘𐎙𐎚𐎛𐎜𐎝𐎞𐎟𐎠𐎡𐎢𐎣𐎤𐎥𐎦𐎧𐎨𐎩𐎪𐎫𐎬𐎭𐎮𐎯𐎰𐎱𐎲𐎳𐎴𐎵𐎶𐎷𐎸𐎹𐎺𐎻𐎼𐎽𐎾𐎿𐏀𐏁𐏂𐏃𐏄𐏅𐏆𐏇𐏈𐏉𐏊𐏋𐏌𐏍𐏎𐏏𐏐𐏑𐏒𐏓𐏔𐏕𐏖𐏗𐏘𐏙𐏚𐏛𐏜𐏝𐏞𐏟𐏠𐏡𐏢𐏣𐏤𐏥𐏦𐏧𐏨𐏩𐏪𐏫𐏬𐏭𐏮𐏯𐏰𐏱𐏲𐏳𐏴𐏵𐏶𐏷𐏸𐏹𐏺𐏻𐏼𐏽𐏾𐏿𐐀𐐁𐐂𐐃𐐄𐐅𐐆𐐇𐐈𐐉𐐊𐐋𐐌𐐍𐐎𐐏𐐐𐐑𐐒𐐓𐐔𐐕𐐖𐐗𐐘𐐙𐐚𐐛𐐜𐐝𐐞𐐟𐐠𐐡𐐢𐐣𐐤𐐥𐐦𐐧𐐨𐐩𐐪𐐫𐐬𐐭𐐮𐐯𐐰𐐱𐐲𐐳𐐴𐐵𐐶𐐷𐐸𐐹𐐺𐐻𐐼𐐽𐐾𐐿𐑀𐑁𐑂𐑃𐑄𐑅𐑆𐑇𐑈𐑉𐑊𐑋𐑌𐑍𐑎𐑏𐑐𐑑𐑒𐑓𐑔𐑕𐑖𐑗𐑘𐑙𐑚𐑛𐑜𐑝𐑞𐑟𐑠𐑡𐑢𐑣𐑤𐑥𐑦𐑧𐑨𐑩𐑪𐑫𐑬𐑭𐑮𐑯𐑰𐑱𐑲𐑳𐑴𐑵𐑶𐑷𐑸𐑹𐑺𐑻𐑼𐑽𐑾𐑿𐒀𐒁𐒂𐒃𐒄𐒅𐒆𐒇𐒈𐒉𐒊𐒋𐒌𐒍𐒎𐒏𐒐𐒑𐒒𐒓𐒔𐒕𐒖𐒗𐒘𐒙𐒚𐒛𐒜𐒝𐒞𐒟𐒠𐒡𐒢𐒣𐒤𐒥𐒦𐒧𐒨𐒩𐒪𐒫𐒬𐒭𐒮𐒯𐒰𐒱𐒲𐒳𐒴𐒵𐒶𐒷𐒸𐒹𐒺𐒻𐒼𐒽𐒾𐒿𐓀𐓁𐓂𐓃𐓄𐓅𐓆𐓇𐓈𐓉𐓊𐓋𐓌𐓍𐓎𐓏𐓐𐓑𐓒𐓓𐓔𐓕𐓖𐓗𐓘𐓙𐓚𐓛𐓜𐓝𐓞𐓟𐓠𐓡𐓢𐓣𐓤𐓥𐓦𐓧𐓨𐓩𐓪𐓫𐓬𐓭𐓮𐓯𐓰𐓱𐓲𐓳𐓴𐓵𐓶𐓷𐓸𐓹𐓺𐓻𐓼𐓽𐓾𐓿𐔀

ᠪᠡᠬᠡᠨᠭᠣᠯᠤᠰᠢᠶ᠋ᠠᠨᠵᠢᠮᠤᠩᠭ᠎ᠠ (虎や豹の模様は外にあるが、人のそれ<sup>31)</sup> は中にある。)

𐄂𐄃𐄅𐄆𐄇𐄈𐄉𐄊𐄋𐄌𐄍𐄎𐄏𐄐𐄑𐄒𐄓𐄔𐄕𐄖𐄗𐄘𐄙𐄚𐄛𐄜𐄝𐄞𐄟𐄠𐄡𐄢𐄣𐄤𐄥𐄦𐄧𐄨𐄩𐄪𐄫𐄬𐄭𐄮𐄯𐄰𐄱𐄲𐄳𐄴𐄵𐄶𐄷𐄸𐄹𐄺𐄻𐄼𐄽𐄾𐄿𐅀𐅁𐅂𐅃𐅄𐅅𐅆𐅇𐅈𐅉𐅊𐅋𐅌𐅍𐅎𐅏𐅐𐅑𐅒𐅓𐅔𐅕𐅖𐅗𐅘𐅙𐅚𐅛𐅜𐅝𐅞𐅟𐅠𐅡𐅢𐅣𐅤𐅥𐅦𐅧𐅨𐅩𐅪𐅫𐅬𐅭𐅮𐅯𐅰𐅱𐅲𐅳𐅴𐅵𐅶𐅷𐅸𐅹𐅺𐅻𐅼𐅽𐅾𐅿𐆀𐆁𐆂𐆃𐆄𐆅𐆆𐆇𐆈𐆉𐆊𐆋𐆌𐆍𐆎𐆏𐆐𐆑𐆒𐆓𐆔𐆕𐆖𐆗𐆘𐆙𐆚𐆛𐆜𐆝𐆞𐆟𐆠𐆡𐆢𐆣𐆤𐆥𐆦𐆧𐆨𐆩𐆪𐆫𐆬𐆭𐆮𐆯𐆰𐆱𐆲𐆳𐆴𐆵𐆶𐆷𐆸𐆹𐆺𐆻𐆼𐆽𐆾𐆿𐇀𐇁𐇂𐇃𐇄𐇅𐇆𐇇𐇈𐇉𐇊𐇋𐇌𐇍𐇎𐇏𐇐𐇑𐇒𐇓𐇔𐇕𐇖𐇗𐇘𐇙𐇚𐇛𐇜𐇝𐇞𐇟𐇠𐇡𐇢𐇣𐇤𐇥𐇦𐇧𐇨𐇩𐇪𐇫𐇬𐇭𐇮𐇯𐇰𐇱𐇲𐇳𐇴𐇵𐇶𐇷𐇸𐇹𐇺𐇻𐇼𐇽𐇾𐇿𐈀𐈁𐈂𐈃𐈄𐈅𐈆𐈇𐈈𐈉𐈊𐈋𐈌𐈍𐈎𐈏𐈐𐈑𐈒𐈓𐈔𐈕𐈖𐈗𐈘𐈙𐈚𐈛𐈜𐈝𐈞𐈟𐈠𐈡𐈢𐈣𐈤𐈥𐈦𐈧𐈨𐈩𐈪𐈫𐈬𐈭𐈮𐈯𐈰𐈱𐈲𐈳𐈴𐈵𐈶𐈷𐈸𐈹𐈺𐈻𐈼𐈽𐈾𐈿𐉀𐉁𐉂𐉃𐉄𐉅𐉆𐉇𐉈𐉉𐉊𐉋𐉌𐉍𐉎𐉏𐉐𐉑𐉒𐉓𐉔𐉕𐉖𐉗𐉘𐉙𐉚𐉛𐉜𐉝𐉞𐉟𐉠𐉡𐉢𐉣𐉤𐉥𐉦𐉧𐉨𐉩𐉪𐉫𐉬𐉭𐉮𐉯𐉰𐉱𐉲𐉳𐉴𐉵𐉶𐉷𐉸𐉹𐉺𐉻𐉼𐉽𐉾𐉿𐊀𐊁𐊂𐊃𐊄𐊅𐊆𐊇𐊈𐊉𐊊𐊋𐊌𐊍𐊎𐊏𐊐𐊑𐊒𐊓𐊔𐊕𐊖𐊗𐊘𐊙𐊚𐊛𐊜𐊝𐊞𐊟𐊠𐊡𐊢𐊣𐊤𐊥𐊦𐊧𐊨𐊩𐊪𐊫𐊬𐊭𐊮𐊯𐊰𐊱𐊲𐊳𐊴𐊵𐊶𐊷𐊸𐊹𐊺𐊻𐊼𐊽𐊾𐊿𐋀𐋁𐋂𐋃𐋄𐋅𐋆𐋇𐋈𐋉𐋊𐋋𐋌𐋍𐋎𐋏𐋐𐋑𐋒𐋓𐋔𐋕𐋖𐋗𐋘𐋙𐋚𐋛𐋜𐋝𐋞𐋟𐋠𐋡𐋢𐋣𐋤𐋥𐋦𐋧𐋨𐋩𐋪𐋫𐋬𐋭𐋮𐋯𐋰𐋱𐋲𐋳𐋴𐋵𐋶𐋷𐋸𐋹𐋺𐋻𐋼𐋽𐋾𐋿𐌀𐌁𐌂𐌃𐌄𐌅𐌆𐌇𐌈𐌉𐌊𐌋𐌌𐌍𐌎𐌏𐌐𐌑𐌒𐌓𐌔𐌕𐌖𐌗𐌘𐌙𐌚𐌛𐌜𐌝𐌞𐌟𐌠𐌡𐌢𐌣𐌤𐌥𐌦𐌧𐌨𐌩𐌪𐌫𐌬𐌭𐌮𐌯𐌰𐌱𐌲𐌳𐌴𐌵𐌶𐌷𐌸𐌹𐌺𐌻𐌼𐌽𐌾𐌿𐍀𐍁𐍂𐍃𐍄𐍅𐍆𐍇𐍈𐍉𐍊𐍋𐍌𐍍𐍎𐍏𐍐𐍑𐍒𐍓𐍔𐍕𐍖𐍗𐍘𐍙𐍚𐍛𐍜𐍝𐍞𐍟𐍠𐍡𐍢𐍣𐍤𐍥𐍦𐍧𐍨𐍩𐍪𐍫𐍬𐍭𐍮𐍯𐍰𐍱𐍲𐍳𐍴𐍵𐍶𐍷𐍸𐍹𐍺𐍻𐍼𐍽𐍾𐍿𐎀𐎁𐎂𐎃𐎄𐎅𐎆𐎇𐎈𐎉𐎊𐎋𐎌𐎍𐎎𐎏𐎐𐎑𐎒𐎓𐎔𐎕𐎖𐎗𐎘𐎙𐎚𐎛𐎜𐎝𐎞𐎟𐎠𐎡𐎢𐎣𐎤𐎥𐎦𐎧𐎨𐎩𐎪𐎫𐎬𐎭𐎮𐎯𐎰𐎱𐎲𐎳𐎴𐎵𐎶𐎷𐎸𐎹𐎺𐎻𐎼𐎽𐎾𐎿𐏀𐏁𐏂𐏃𐏄𐏅𐏆𐏇𐏈𐏉𐏊𐏋𐏌𐏍𐏎𐏏𐏐𐏑𐏒𐏓𐏔𐏕𐏖𐏗𐏘𐏙𐏚𐏛𐏜𐏝𐏞𐏟𐏠𐏡𐏢𐏣𐏤𐏥𐏦𐏧𐏨𐏩𐏪𐏫𐏬𐏭𐏮𐏯𐏰𐏱𐏲𐏳𐏴𐏵𐏶𐏷𐏸𐏹𐏺𐏻𐏼𐏽𐏾𐏿𐐀𐐁𐐂𐐃𐐄𐐅𐐆𐐇𐐈𐐉𐐊𐐋𐐌𐐍𐐎𐐏𐐐𐐑𐐒𐐓𐐔𐐕𐐖𐐗𐐘𐐙𐐚𐐛𐐜𐐝𐐞𐐟𐐠𐐡𐐢𐐣𐐤𐐥𐐦𐐧𐐨𐐩𐐪𐐫𐐬𐐭𐐮𐐯𐐰𐐱𐐲𐐳𐐴𐐵𐐶𐐷𐐸𐐹𐐺𐐻𐐼𐐽𐐾𐐿𐑀𐑁𐑂𐑃𐑄𐑅𐑆𐑇𐑈𐑉𐑊𐑋𐑌𐑍𐑎𐑏𐑐𐑑𐑒𐑓𐑔𐑕𐑖𐑗𐑘𐑙𐑚𐑛𐑜𐑝𐑞𐑟𐑠𐑡𐑢𐑣𐑤𐑥𐑦𐑧𐑨𐑩𐑪𐑫𐑬𐑭𐑮𐑯𐑰𐑱𐑲𐑳𐑴𐑵𐑶𐑷𐑸𐑹𐑺𐑻𐑼𐑽𐑾𐑿𐒀𐒁𐒂𐒃𐒄𐒅𐒆𐒇𐒈𐒉𐒊𐒋𐒌𐒍𐒎𐒏𐒐𐒑𐒒𐒓𐒔𐒕𐒖𐒗𐒘𐒙𐒚𐒛𐒜𐒝𐒞𐒟𐒠𐒡𐒢𐒣𐒤𐒥𐒦𐒧𐒨𐒩𐒪𐒫𐒬𐒭𐒮𐒯𐒰𐒱𐒲𐒳𐒴𐒵𐒶𐒷𐒸𐒹𐒺𐒻𐒼𐒽𐒾𐒿𐓀𐓁𐓂𐓃𐓄𐓅𐓆𐓇𐓈𐓉𐓊𐓋𐓌𐓍𐓎𐓏𐓐𐓑𐓒𐓓𐓔𐓕𐓖𐓗𐓘𐓙𐓚𐓛𐓜𐓝𐓞𐓟𐓠𐓡𐓢𐓣𐓤𐓥𐓦𐓧𐓨𐓩𐓪𐓫𐓬𐓭𐓮𐓯𐓰𐓱𐓲𐓳𐓴𐓵𐓶𐓷𐓸𐓹𐓺𐓻𐓼𐓽𐓾𐓿𐔀𐔁𐔂

シッポのある動物はシッポのことを想わないが、シッポのない人類はシッポを羨む。

29) この植物の花は咲いたり閉じたりを繰り返すことから、男をひんぱんにとりかえる浮気性の女性を象徴している。

30) 手のひらを持つ動物は、その母の形質を受け継ぐことが多いという彝族の格言。

31) 思想などの差異を指している。

## 21. # (ジンモ)

子子子子子子子子子子 (彝族の子供の数はたいてい、三か五か七か九だ。)  
 子子子子子子子子 (一人や二人ということもないし、十人ということもない。)  
 子子子子子子子子 (四人や六人や八人ということもまずない。)  
 子子子子子子子子子子 (誰もが人一倍幸運を願い、勢力を示そうとする。)  
 子子子子子子子子子子 (だからこっそりと水増しして数えることもある。)  
 子子子子子子子子子子 (親戚の中には、三代続いて男子一人ということはずまずない。)  
 子子子子子子子子子子 (だが私の父ジンモは男一人。)  
 子子子子子子子子子子 (一人っ子にとって人にもまして自尊心が重要である。自尊心を持つことで多くの子孫や幸運を手に入れることができる。)  
 子子子子子子子子子子 (父のジンモは人一倍自尊心と勇気にあふれ、ミツバチよりも勤勉に働いた。)

## 22. W (ルティ<sup>32)</sup>)

W W W W W W W W W W (龍の年、龍の月、龍の日、龍の夜に生まれた。)  
 W W W W W W W W W W (龍の方角に生まれたが、東北ではなく、南方に生まれた。)  
 W W W W W W W W W W (一生のうちに英雄ジーガアーロンのようになることは難しいので、)  
 W W W W W W W W W W (あちらこちらでジーガアーロンの魂を呼ぶ儀式を行った。)  
 W W W W W W W W W W (白人のためにも、黒人のためにも、赤人のためにも、黄人のためにも魂を呼んだ。)  
 W W W W W W W W W W (やがてすべての生命のために魂を呼ぶようになった。)  
 W W W W W W W W W W (魂魄のない生命のためには、魂魄を創造してから魂を呼んだ。)

32) これは作者のアク・ウウのことである。このルティという名前は儀礼の際などに用いられる特別な名前である。年長者のみこの名前を呼ぶことが許される。それに対して「ウウ」というのは対等なものが使う呼称である。前者が聖なる真の名であるのに対して、後者は通俗名のようなものである。

※※※※※※※※※※※※※※※※（そうして一生のすべてを捧げても、時間が足りず、）  
※※※※※※※※※※※※※※※※（結局本当の彝族になれないでは、世界の  
子にならないのでは、と心配し続けている。）

23. ㄹ (木ダ)

対ノ異相長ニ在田公ハ〇言ヲ非トシ垂（学業と言えは世界に羽ばたいてこそはじめて優秀、と言われる時代。）

鳩や鷹は遠くへ行くべき、  
との古い格言は間違いではなかったようだ。）

子供は父母のそばにいれば幸福ではあるが、

呷呷ふふニんじに母の口を舐めたりする（そのような幸福な子供が次の世代の良き親となるかどうかはわからない。）

トキヲトケルニホシヤリサヘハナクモトヨクガキ（父や母の言いつけを聞かずに我が道を行っても構わない。）

𐄂𐄃𐄄𐄅𐄆𐄇𐄈𐄉𐄊𐄋𐄌𐄍𐄎𐄏𐄐𐄑𐄒𐄓𐄔𐄕𐄖𐄗𐄘𐄙𐄚𐄛𐄜𐄝𐄞𐄟𐄠𐄡𐄢𐄣𐄤𐄥𐄦𐄧𐄨𐄩𐄪𐄫𐄬𐄭𐄮𐄯𐄰𐄱𐄲𐄳𐄴𐄵𐄶𐄷𐄸𐄹𐄺𐄻𐄼𐄽𐄾𐄿𐅀𐅁𐅂𐅃𐅄𐅅𐅆𐅇𐅈𐅉𐅊𐅋𐅌𐅍𐅎𐅏𐅐𐅑𐅒𐅓𐅔𐅕𐅖𐅗𐅘𐅙𐅚𐅛𐅜𐅝𐅞𐅟𐅠𐅡𐅢𐅣𐅤𐅥𐅦𐅧𐅨𐅩𐅪𐅫𐅬𐅭𐅮𐅯𐅰𐅱𐅲𐅳𐅴𐅵𐅶𐅷𐅸𐅹𐅺𐅻𐅼𐅽𐅾𐅿𐆀𐆁𐆂𐆃𐆄𐆅𐆆𐆇𐆈𐆉𐆊𐆋𐆌𐆍𐆎𐆏𐆐𐆑𐆒𐆓𐆔𐆕𐆖𐆗𐆘𐆙𐆚𐆛𐆜𐆝𐆞𐆟𐆠𐆡𐆢𐆣𐆤𐆥𐆦𐆧𐆨𐆩𐆪𐆫𐆬𐆭𐆮𐆯𐆰𐆱𐆲𐆳𐆴𐆵𐆶𐆷𐆸𐆹𐆺𐆻𐆼𐆽𐆾𐆿𐇀𐇁𐇂𐇃𐇄𐇅𐇆𐇇𐇈𐇉𐇊𐇋𐇌𐇍𐇎𐇏𐇐𐇑𐇒𐇓𐇔𐇕𐇖𐇗𐇘𐇙𐇚𐇛𐇜𐇝𐇞𐇟𐇠𐇡𐇢𐇣𐇤𐇥𐇦𐇧𐇨𐇩𐇪𐇫𐇬𐇭𐇮𐇯𐇰𐇱𐇲𐇳𐇴𐇵𐇶𐇷𐇸𐇹𐇺𐇻𐇼𐇽𐇾𐇿𐈀𐈁𐈂𐈃𐈄𐈅𐈆𐈇𐈈𐈉𐈊𐈋𐈌𐈍𐈎𐈏𐈐𐈑𐈒𐈓𐈔𐈕𐈖𐈗𐈘𐈙𐈚𐈛𐈜𐈝𐈞𐈟𐈠𐈡𐈢𐈣𐈤𐈥𐈦𐈧𐈨𐈩𐈪𐈫𐈬𐈭𐈮𐈯𐈰𐈱𐈲𐈳𐈴𐈵𐈶𐈷𐈸𐈹𐈺𐈻𐈼𐈽𐈾𐈿𐉀𐉁𐉂𐉃𐉄𐉅𐉆𐉇𐉈𐉉𐉊𐉋𐉌𐉍𐉎𐉏𐉐𐉑𐉒𐉓𐉔𐉕𐉖𐉗𐉘𐉙𐉚𐉛𐉜𐉝𐉞𐉟𐉠𐉡𐉢𐉣𐉤𐉥𐉦𐉧𐉨𐉩𐉪𐉫𐉬𐉭𐉮𐉯𐉰𐉱𐉲𐉳𐉴𐉵𐉶𐉷𐉸𐉹𐉺𐉻𐉼𐉽𐉾𐉿𐊀𐊁𐊂𐊃𐊄𐊅𐊆𐊇𐊈𐊉𐊊𐊋𐊌𐊍𐊎𐊏𐊐𐊑𐊒𐊓𐊔𐊕𐊖𐊗𐊘𐊙𐊚𐊛𐊜𐊝𐊞𐊟𐊠𐊡𐊢𐊣𐊤𐊥𐊦𐊧𐊨𐊩𐊪𐊫𐊬𐊭𐊮𐊯𐊰𐊱𐊲𐊳𐊴𐊵𐊶𐊷𐊸𐊹𐊺𐊻𐊼𐊽𐊾𐊿𐋀𐋁𐋂𐋃𐋄𐋅𐋆𐋇𐋈𐋉𐋊𐋋𐋌𐋍𐋎𐋏𐋐𐋑𐋒𐋓𐋔𐋕𐋖𐋗𐋘𐋙𐋚𐋛𐋜𐋝𐋞𐋟𐋠𐋡𐋢𐋣𐋤𐋥𐋦𐋧𐋨𐋩𐋪𐋫𐋬𐋭𐋮𐋯𐋰𐋱𐋲𐋳𐋴𐋵𐋶𐋷𐋸𐋹𐋺𐋻𐋼𐋽𐋾𐋿𐌀𐌁𐌂𐌃𐌄𐌅𐌆𐌇𐌈𐌉𐌊𐌋𐌌𐌍𐌎𐌏𐌐𐌑𐌒𐌓𐌔𐌕𐌖𐌗𐌘𐌙𐌚𐌛𐌜𐌝𐌞𐌟𐌠𐌡𐌢𐌣𐌤𐌥𐌦𐌧𐌨𐌩𐌪𐌫𐌬𐌭𐌮𐌯𐌰𐌱𐌲𐌳𐌴𐌵𐌶𐌷𐌸𐌹𐌺𐌻𐌼𐌽𐌾𐌿𐍀𐍁𐍂𐍃𐍄𐍅𐍆𐍇𐍈𐍉𐍊𐍋𐍌𐍍𐍎𐍏𐍐𐍑𐍒𐍓𐍔𐍕𐍖𐍗𐍘𐍙𐍚𐍛𐍜𐍝𐍞𐍟𐍠𐍡𐍢𐍣𐍤𐍥𐍦𐍧𐍨𐍩𐍪𐍫𐍬𐍭𐍮𐍯𐍰𐍱𐍲𐍳𐍴𐍵𐍶𐍷𐍸𐍹𐍺𐍻𐍼𐍽𐍾𐍿𐎀𐎁𐎂𐎃𐎄𐎅𐎆𐎇𐎈𐎉𐎊𐎋𐎌𐎍𐎎𐎏𐎐𐎑𐎒𐎓𐎔𐎕𐎖𐎗𐎘𐎙𐎚𐎛𐎜𐎝𐎞𐎟𐎠𐎡𐎢𐎣𐎤𐎥𐎦𐎧𐎨𐎩𐎪𐎫𐎬𐎭𐎮𐎯𐎰𐎱𐎲𐎳𐎴𐎵𐎶𐎷𐎸𐎹𐎺𐎻𐎼𐎽𐎾𐎿𐏀𐏁𐏂𐏃𐏄𐏅𐏆𐏇𐏈𐏉𐏊𐏋𐏌𐏍𐏎𐏏𐏐𐏑𐏒𐏓𐏔𐏕𐏖𐏗𐏘𐏙𐏚𐏛𐏜𐏝𐏞𐏟𐏠𐏡𐏢𐏣𐏤𐏥𐏦𐏧𐏨𐏩𐏪𐏫𐏬𐏭𐏮𐏯𐏰𐏱𐏲𐏳𐏴𐏵𐏶𐏷𐏸𐏹𐏺𐏻𐏼𐏽𐏾𐏿𐐀𐐁𐐂𐐃𐐄𐐅𐐆𐐇𐐈𐐉𐐊𐐋𐐌𐐍𐐎𐐏𐐐𐐑𐐒𐐓𐐔𐐕𐐖𐐗𐐘𐐙𐐚𐐛𐐜𐐝𐐞𐐟𐐠𐐡𐐢𐐣𐐤𐐥𐐦𐐧𐐨𐐩𐐪𐐫𐐬𐐭𐐮𐐯𐐰𐐱𐐲𐐳𐐴𐐵𐐶𐐷𐐸𐐹𐐺𐐻𐐼𐐽𐐾𐐿𐑀𐑁𐑂𐑃𐑄𐑅𐑆𐑇𐑈𐑉𐑊𐑋𐑌𐑍𐑎𐑏𐑐𐑑𐑒𐑓𐑔𐑕𐑖𐑗𐑘𐑙𐑚𐑛𐑜𐑝𐑞𐑟𐑠𐑡𐑢𐑣𐑤𐑥𐑦𐑧𐑨𐑩𐑪𐑫𐑬𐑭𐑮𐑯𐑰𐑱𐑲𐑳𐑴𐑵𐑶𐑷𐑸𐑹𐑺𐑻𐑼𐑽𐑾𐑿𐒀𐒁𐒂𐒃𐒄𐒅𐒆𐒇𐒈𐒉𐒊𐒋𐒌𐒍𐒎𐒏𐒐𐒑𐒒𐒓𐒔𐒕𐒖𐒗𐒘𐒙𐒚𐒛𐒜𐒝𐒞𐒟𐒠𐒡𐒢𐒣𐒤𐒥𐒦𐒧𐒨𐒩𐒪𐒫𐒬𐒭𐒮𐒯𐒰𐒱𐒲𐒳𐒴𐒵𐒶𐒷𐒸𐒹𐒺𐒻𐒼𐒽𐒾𐒿𐓀𐓁𐓂𐓃𐓄𐓅𐓆𐓇𐓈𐓉𐓊𐓋𐓌𐓍𐓎𐓏𐓐𐓑𐓒𐓓𐓔𐓕𐓖𐓗𐓘𐓙𐓚𐓛𐓜𐓝𐓞𐓟𐓠𐓡𐓢𐓣𐓤𐓥𐓦𐓧𐓨𐓩𐓪𐓫𐓬𐓭𐓮𐓯𐓰𐓱𐓲𐓳𐓴𐓵𐓶𐓷𐓸𐓹𐓺𐓻𐓼𐓽𐓾𐓿𐔀

𐀓𐀠𐀭𐀮𐀵𐀶𐀗𐀺𐀬𐀪𐀢𐀫𐀸𐀹𐀻𐀼𐀽𐀾𐀿 (民族の神や霊であれば、その魂をつかんだ手を離してはならない。)

𐀀𐀁𐀂𐀃𐀄𐀅𐀆𐀇𐀈𐀉𐀊𐀋𐀌𐀍𐀎𐀏𐀐𐀑𐀒𐀓𐀔𐀕𐀖𐀗𐀘𐀙𐀚𐀛𐀜𐀝𐀞𐀟𐀠𐀡𐀢𐀣𐀤𐀥𐀦𐀧𐀨𐀩𐀪𐀫𐀬𐀭𐀮𐀯𐀰𐀱𐀲𐀳𐀴𐀵𐀶𐀷𐀸𐀹𐀺𐀻𐀼𐀽𐀾𐀿𐁀𐁁𐁂𐁃𐁄𐁅𐁆𐁇𐁈𐁉𐁊𐁋𐁌𐁍𐁎𐁏𐁐𐁑𐁒𐁓𐁔𐁕𐁖𐁗𐁘𐁙𐁚𐁛𐁜𐁝𐁞𐁟𐁠𐁡𐁢𐁣𐁤𐁥𐁦𐁧𐁨𐁩𐁪𐁫𐁬𐁭𐁮𐁯𐁰𐁱𐁲𐁳𐁴𐁵𐁶𐁷𐁸𐁹𐁺𐁻𐁼𐁽𐁾𐁿𐂀𐂁𐂂𐂃𐂄𐂅𐂆𐂇𐂈𐂉𐂊𐂋𐂌𐂍𐂎𐂏𐂐𐂑𐂒𐂓𐂔𐂕𐂖𐂗𐂘𐂙𐂚𐂛𐂜𐂝𐂞𐂟𐂠𐂡𐂢𐂣𐂤𐂥𐂦𐂧𐂨𐂩𐂪𐂫𐂬𐂭𐂮𐂯𐂰𐂱𐂲𐂳𐂴𐂵𐂶𐂷𐂸𐂹𐂺𐂻𐂼𐂽𐂾𐂿𐃀𐃁𐃂𐃃𐃄𐃅𐃆𐃇𐃈𐃉𐃊𐃋𐃌𐃍𐃎𐃏𐃐𐃑𐃒𐃓𐃔𐃕𐃖𐃗𐃘𐃙𐃚𐃛𐃜𐃝𐃞𐃟𐃠𐃡𐃢𐃣𐃤𐃥𐃦𐃧𐃨𐃩𐃪𐃫𐃬𐃭𐃮𐃯𐃰𐃱𐃲𐃳𐃴𐃵𐃶𐃷𐃸𐃹𐃺𐃻𐃼𐃽𐃾𐃿𐄀𐄁𐄂𐄃𐄄𐄅𐄆𐄇𐄈𐄉𐄊𐄋𐄌𐄍𐄎𐄏𐄐𐄑𐄒𐄓𐄔𐄕𐄖𐄗𐄘𐄙𐄚𐄛𐄜𐄝𐄞𐄟𐄠𐄡𐄢𐄣𐄤𐄥𐄦𐄧𐄨𐄩𐄪𐄫𐄬𐄭𐄮𐄯𐄰𐄱𐄲𐄳𐄴𐄵𐄶𐄷𐄸𐄹𐄺𐄻𐄼𐄽𐄾𐄿𐅀𐅁𐅂𐅃𐅄𐅅𐅆𐅇𐅈𐅉𐅊𐅋𐅌𐅍𐅎𐅏𐅐𐅑𐅒𐅓𐅔𐅕𐅖𐅗𐅘𐅙𐅚𐅛𐅜𐅝𐅞𐅟𐅠𐅡𐅢𐅣𐅤𐅥𐅦𐅧𐅨𐅩𐅪𐅫𐅬𐅭𐅮𐅯𐅰𐅱𐅲𐅳𐅴𐅵𐅶𐅷𐅸𐅹𐅺𐅻𐅼𐅽𐅾𐅿𐆀𐆁𐆂𐆃𐆄𐆅𐆆𐆇𐆈𐆉𐆊𐆋𐆌𐆍𐆎𐆏𐆐𐆑𐆒𐆓𐆔𐆕𐆖𐆗𐆘𐆙𐆚𐆛𐆜𐆝𐆞𐆟𐆠𐆡𐆢𐆣𐆤𐆥𐆦𐆧𐆨𐆩𐆪𐆫𐆬𐆭𐆮𐆯𐆰𐆱𐆲𐆳𐆴𐆵𐆶𐆷𐆸𐆹𐆺𐆻𐆼𐆽𐆾𐆿𐇀𐇁𐇂𐇃𐇄𐇅𐇆𐇇𐇈𐇉𐇊𐇋𐇌𐇍𐇎𐇏𐇐𐇑𐇒𐇓𐇔𐇕𐇖𐇗𐇘𐇙𐇚𐇛𐇜𐇝𐇞𐇟𐇠𐇡𐇢𐇣𐇤𐇥𐇦𐇧𐇨𐇩𐇪𐇫𐇬𐇭𐇮𐇯𐇰𐇱𐇲𐇳𐇴𐇵𐇶𐇷𐇸𐇹𐇺𐇻𐇼𐇽𐇾𐇿𐈀𐈁𐈂𐈃𐈄𐈅𐈆𐈇𐈈𐈉𐈊𐈋𐈌𐈍𐈎𐈏𐈐𐈑𐈒𐈓𐈔𐈕𐈖𐈗𐈘𐈙𐈚𐈛𐈜𐈝𐈞𐈟𐈠𐈡𐈢𐈣𐈤𐈥𐈦𐈧𐈨𐈩𐈪𐈫𐈬𐈭𐈮𐈯𐈰𐈱𐈲𐈳𐈴𐈵𐈶𐈷𐈸𐈹𐈺𐈻𐈼𐈽𐈾𐈿𐉀𐉁𐉂𐉃𐉄𐉅𐉆𐉇𐉈𐉉𐉊𐉋𐉌𐉍𐉎𐉏𐉐𐉑𐉒𐉓𐉔𐉕𐉖𐉗𐉘𐉙𐉚𐉛𐉜𐉝𐉞𐉟𐉠𐉡𐉢𐉣𐉤𐉥𐉦𐉧𐉨𐉩𐉪𐉫𐉬𐉭𐉮𐉯𐉰𐉱𐉲𐉳𐉴𐉵𐉶𐉷𐉸𐉹𐉺𐉻𐉼𐉽𐉾𐉿𐊀𐊁𐊂𐊃𐊄𐊅𐊆𐊇𐊈𐊉𐊊𐊋𐊌𐊍𐊎𐊏𐊐𐊑𐊒𐊓𐊔𐊕𐊖𐊗𐊘𐊙𐊚𐊛𐊜𐊝𐊞𐊟𐊠𐊡𐊢𐊣𐊤𐊥𐊦𐊧𐊨𐊩𐊪𐊫𐊬𐊭𐊮𐊯𐊰𐊱𐊲𐊳𐊴𐊵𐊶𐊷𐊸𐊹𐊺𐊻𐊼𐊽𐊾𐊿𐋀𐋁𐋂𐋃𐋄𐋅𐋆𐋇𐋈𐋉𐋊𐋋𐋌𐋍𐋎𐋏𐋐𐋑𐋒𐋓𐋔𐋕𐋖𐋗𐋘𐋙𐋚𐋛𐋜𐋝𐋞𐋟𐋠𐋡𐋢𐋣𐋤𐋥𐋦𐋧𐋨𐋩𐋪𐋫𐋬𐋭𐋮𐋯𐋰𐋱𐋲𐋳𐋴𐋵𐋶𐋷𐋸𐋹𐋺𐋻𐋼𐋽𐋾𐋿𐌀𐌁𐌂𐌃𐌄𐌅𐌆𐌇𐌈𐌉𐌊𐌋𐌌𐌍𐌎𐌏𐌐𐌑𐌒𐌓𐌔𐌕𐌖𐌗𐌘𐌙𐌚𐌛𐌜𐌝𐌞𐌟𐌠𐌡𐌢𐌣𐌤𐌥𐌦𐌧𐌨𐌩𐌪𐌫𐌬𐌭𐌮𐌯𐌰𐌱𐌲𐌳𐌴𐌵𐌶𐌷𐌸𐌹𐌺𐌻𐌼𐌽𐌾𐌿𐍀𐍁𐍂𐍃𐍄𐍅𐍆𐍇𐍈𐍉𐍊𐍋𐍌𐍍𐍎𐍏𐍐𐍑𐍒𐍓𐍔𐍕𐍖𐍗𐍘𐍙𐍚𐍛𐍜𐍝𐍞𐍟𐍠𐍡𐍢𐍣𐍤𐍥𐍦𐍧𐍨𐍩𐍪𐍫𐍬𐍭𐍮𐍯𐍰𐍱𐍲𐍳𐍴𐍵𐍶𐍷𐍸𐍹𐍺𐍻𐍼𐍽𐍾𐍿𐎀𐎁𐎂𐎃𐎄𐎅𐎆𐎇𐎈𐎉𐎊𐎋𐎌𐎍𐎎𐎏𐎐𐎑𐎒𐎓𐎔𐎕𐎖𐎗𐎘𐎙𐎚𐎛𐎜𐎝𐎞𐎟𐎠𐎡𐎢𐎣𐎤𐎥𐎦𐎧𐎨𐎩𐎪𐎫𐎬𐎭𐎮𐎯𐎰𐎱𐎲𐎳𐎴𐎵𐎶𐎷𐎸𐎹𐎺𐎻𐎼𐎽𐎾𐎿𐏀𐏁𐏂𐏃𐏄𐏅𐏆𐏇𐏈𐏉𐏊𐏋𐏌𐏍𐏎𐏏𐏐𐏑𐏒𐏓𐏔𐏕𐏖𐏗𐏘𐏙𐏚𐏛𐏜𐏝𐏞𐏟𐏠𐏡𐏢𐏣𐏤𐏥𐏦𐏧𐏨𐏩𐏪𐏫𐏬𐏭𐏮𐏯𐏰𐏱𐏲𐏳𐏴𐏵𐏶𐏷𐏸𐏹𐏺𐏻𐏼𐏽𐏾

24.  $\mathbb{N}$  (モツ)

ᠮᠤᠩᠭᠤᠯᠤᠯᠤᠰᠤᠨᠵᠢᠨᠠᠨᠭᠤᠯᠤᠯᠤᠰᠤᠨ (彝族の歴史は長江の歴史よりさらに長い。)

♪H Q H P ♪ (上には父たる白色の天空が広がり、下には母たる黒色の大地が横たわっている。)

ᄃᆞᆫᄇᆡᄂᆞᆫᄃᆞᆫᄃᆞᆫ(上には父たる雄大なる山脈が広がり、下には母たる滔々と流れる川が横たわっている。)

𐤆𐤋𐤍𐤏𐤍𐤕𐤍𐤕𐤍𐤕 (天上の太陽と月はかつて兄と妹であった。)

公ハ新ウヲ新トシテ公ニ奉リテ奉ル（世界に存在する万物は親でもあり、子でもある。）

※源のない流れはなく、根のない木もない。

オホノリニハナシコトヲ申ス（なぜ彝族の家系が父系であって母系ではないのかと言え、）

ㄱ ㄴ ㄷ ㄹ ㅁ ㅂ ㅅ ㅈ ㅊ ㅋ ㆁ ㆅ ㆆ ㆇ ㆈ ㆉ ㆊ ㆋ ㆌ ㆍ ㆎ ㆏ ㆐ ㆑ ㆒ ㆓ ㆔ ㆕ ㆖ ㆗ ㆘ ㆙ ㆚ ㆛ ㆜ ㆝ ㆞ ㆟ ㆠ ㆡ ㆢ ㆣ ㆤ ㆥ ㆦ ㆧ ㆨ ㆩ ㆪ ㆫ ㆬ ㆭ ㆮ ㆯ ㆰ ㆱ ㆲ ㆳ ㆴ ㆵ ㆶ ㆷ ㆸ ㆹ ㆺ ㆻ ㆼ ㆽ ㆾ ㆿ ㆿ (母は根であり種であり、父は花であり、実であるからである。)



生存境況、生存精神和生存境界。涉及彝族诺苏人的宗教信仰、自然观、宇宙观、价值观、生命观等，延续着彝族人独特的记录历史、表述历史和思考历史的方式。彝族诺苏人的历史就是无数条家谱的河流汇流而成为族群历史的大流的。该诗歌通过个体的历史试图诗意地触摸和思考族群的生存发展历史。

关键词：阿库乌雾 谱系诗歌 姓名与族性 时间与空间

### 詩意解説：

この詩文は現代の彝族母語詩人であるアク・ウウ（Aku Wuwu）が歴史上はじめて編み出した「家系詩」である。この詩の主要な内容はアク・ウウ本人の家系から構成されている。天空の意味を表す「ング」から始まり、アク・ウウの息子であるアク・ホダに至るまで、数えると23代におよぶ一族の歴史について、23首の詩で各世代の祖先の歴史的・文化的意義づけ・文脈について、祖先の名前をたどりながら記述し、理解し、解釈したものである。

その詩の形式は一首ごとに九行で固定されている。これは彝族の伝統詩歌が奇数行で作られてきたことを受け継いでいる。この「九」の彝族母語における発音は堅牢、強靱、安定、永久などの意味を持っている。つまりこの民族が家族について語るときに、家系が絶えずに永遠に続いていくという祈りが込められているということ、この九という数字が暗喩している。

そしてこの詩は人名を題名とする23首に、「母系」を題名とする1首を加えて24首から構成されている。彝族の家系の中に登場する人名は父系血縁にのって記述され、家系の中には女性の名前が登場しない。しかしこの詩では、自らの一族の家系の中で無視されてきた女性のために「モツ」（女性の譜）という一首を加えて、これによって彝族の伝統文化の叙述体系の中において「空席の参加」という形で女性に特別な位置づけを与え、彝族の生命の存続と変化の中における色あせることのない重要な貢献に敬意を捧げるものである。

このように「アク・ウウの家系をたどる連続詩」は24首の詩から構成される現代彝語の長編詩である。この詩が語る対象や分野は家族の伝説、民族の移住の歴史、宗教的儀礼、倫理道德、民俗活動など多岐にわたっている。彝族の歴史を記録し、歴史を表現し、歴史を思考する独特な方式を引き継いでいる。彝族ヌオス人の歴史とは、すなわち無数の家系の族譜の河流が集まって民族の大河となったものである。この詩は個別的な歴史を通して民族の生存と発展を表現しようと試みたものである。

キーワード：アク・ウウ 家系詩 姓名とエスニシティ姓名 時間と空間